



# シリーズ 伊達の水道 Vol.3 『持続』

今回でシリーズ最終回となる伊達の水道。水道は私たちの生活、健康、経済活動に欠かせないものであるため、将来にわたって安定して事業を継続しなければなりません。そのためには経営状況を良好に保つ必要があります。適切な水道料金体系の検討や経営合理化の取り組みが求められています。

## 水道料金の仕組み

水道料金は「公正妥当なものでなければならず、かつ、能率的な経営の下における適正な原価を基礎とし、水道事業の健全な運営を確保することができるものでなければならず」とされています。

水道料金の仕組みについては、事業が効率的に行われた場合に要する費用（総括原価）が水道料金収入と見合うように設定されており、これを「総括原価方式」といいます。

そのため、料金算定の根拠が比較的わかりやすく、利用者にとって過大な料金負担にならない設定となっています。



## 伊達市の水道料金

### 伊達市の水道水の値段は 500ml 当たり 0.14 円！

伊達市の水道水 1m<sup>3</sup>あたりの供給（販売）価格は、平均して約271円となっており、500ml(0.0005m<sup>3</sup>)あたりに換算すると、約0.14円になります。市販のペットボトルウォーター 500ml がおよそ 100 円であるのに比べると、水道水の料金はかなり安価になっていることがわかります。

### ▼周辺自治体（企業団構成市町）との水道料金比較表（口径 13<sup>ミリ</sup>・平成 27 年度）

市町村	伊達市	福島市	桑折町	国見町	川俣町	二本松市
使用水量 10m <sup>3</sup>	3,078 円	2,268 円	2,462 円	2,035 円	2,214 円	1,608 円
使用水量 20m <sup>3</sup>	4,860 円	3,717 円	4,730 円	4,519 円	4,050 円	2,613 円
受水割合	100%	99.4%	69%	82.3%	24.2%	9.3%
給水人口 1 人当たりの水道管延長	11.3 <sup>キロメートル</sup>	5.5 <sup>キロメートル</sup>	10.5 <sup>キロメートル</sup>	10.6 <sup>キロメートル</sup>	5.9 <sup>キロメートル</sup>	8.9 <sup>キロメートル</sup>

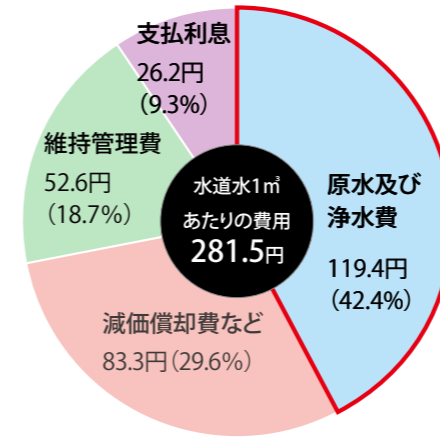
しかし、伊達市の水道料金は周辺自治体と比較すると高い状況です。浄水場からの受水割合の高い自治体においては料金が比較的高くなる傾向にあります。また、本市の場合は給水人口一人当たりの水道管路延長が多いためにその投資費用や維持管理費用が水道料金に影響を与えています。これは伊達市の人口密度や地理的な条件によるものと考えられます。

### 水道水を安く供給するために

今後もできる限り水道水を安く供給するために、様々な経営の効率化などによる努力を重ねていきます。組織の見直しや窓口業務の民間委託の検討などを実施するとともに、人口減少社会の進行に対応した事業・施設のダウンサイジングについても将来を見据えて施設更新計画に反映させていきます。併せて、給水区域内の水道未加入者に対しても水道への加入促進を図ります。

## 水道水の供給（販売）価格と供給にかかる費用

図1 水道水1m<sup>3</sup>を供給するのにかかる費用の内訳（平成27年度決算）



### 水道水の供給に必要な費用の状況

水道水 1m<sup>3</sup>あたりの販売価格が約 271 円なのに対して、水道水 1m<sup>3</sup>を供給（販売）するために要する費用は約 281 円となっています（図1 参照）。

今後は人口減少が進行することや節水機器の普及などにより水道料金収入の減少が続くと収入と費用のバランスがさらに取れなくなり経営環境が厳しくなることが予想されます。水道事業の継続のために施設の延命化や料金体系の見直し、さらなる経営の効率化が求められる時期が将来的に來ることが考えられます。

### ▼図2 周辺自治体（企業団構成市町）平均との比較

項目	原水及び浄水費	減価償却費など	維持管理費など	支払利息
伊達市	42.4%	29.6%	18.7%	9.3%
周辺自治体平均	35.8%	37.5%	26.1%	6.5%

【原水及び浄水費】浄水場から水を受ける（買う）ための費用や浄水のための費用【減価償却費など】将来の施設更新のための費用【維持管理費など】水道水を適切に供給するための維持管理費用（人件費含む）【支払利息】設備投資のためにした借入れの利息

### 費用の 42% はすりかみ浄水場から水を買う費用

費用の内訳を見ると伊達市は原水及び浄水費の割合が比較的多い状況にあり、減価償却費、維持管理費などの割合は低く抑えられている状況にあります。

伊達市は良質な水道水を安定的に供給することができるように、水道水のすべてをすりかみ浄水場から受水しており、市単独の浄水場を持っていません。このことが、維持管理費などを低く抑えられている要因の一つです（図2 参照）。

一方、水道事業にかかる費用の多くは、すりかみ浄水場からの受水（水を買う）にかかる費用になっています。原水及び浄水費の低廉化が総費用の低減に大きな影響を与えるため、低廉化に向けた取り組みとして、福島地方水道用水供給企業団や同企業団を構成する市町との協議を進めていきたいと考えています。

### 水道料金の納入は口座振替で！

水道料金の納付方法は、指定された金融機関の口座からの自動振替と、納入通知書（市役所窓口・金融機関・コンビニ）による納付があります。

水道の納付は、窓口やコンビニに出向く必要がなく、納め忘れの心配がない口座振替をおすすめしています。また、水道事業で負担する手数料が安く済むため、経費の節減にもつながります。水道料金はぜひ口座振替で納入ください。口座振替のお申し込みは、市指定金融機関の窓口で受け付けています。

### 景品が当たるチャンス 口座振替促進キャンペーン実施中！

水道料金もキャンペーンの対象です。

市指定金融機関に通帳、通帳に届け出の印鑑、納付書をお持ちになり、口座振替をお申し込みください。

※詳しくは、市ホームページまたは市政だより7月号をご覧ください。



景品イメージ

### 水道イメージキャラクター「だてすいっぴー」



市の水道イメージキャラクター「だてすいっぴー」。

水道のイメージアップを目的に、親しまれるキャラクターを策定しようと平成26年7月に市内の小学3、4年生を対象にデザインと名称を募集しました。584通の応募作品の中から選ばれた、水滴と伊達市のマークをイメージした親しみやすいデザインを基にしたキャラクターです。今後も水道事業のPRなどに活用します。（※20<sup>15</sup>年に水道に関する出前講座の記事を掲載しています）